

第5学年 社会科 学習指導案

日 時 令和6年6月5日(水)

第5校時 13:30~14:15

対 象 第5学年2組31名

1 単元名 「自然条件と人々の暮らし」

2 単元の目標

- 日本の位置や地形、気候の側面から、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々は様々な工夫や努力をして生活していることを理解する。
- 特色ある地域の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考えたり、自分の学びを表現したりすることで、自分の考えを文章等でまとめたり、分かりやすく説明したりする力を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解している。	地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現している。	自然条件に特色のある地域の暮らしや産業との関係について進んで調べ、自分の考えをまとめようとしている。



キャリアの目標（学習を通して自分がどのように変容したいかをイメージさせる。）

学んだことを生かして自ら学びを広げたり深めたりするために、興味のある地域を選択して自然条件と人々の暮らしの関係を調べることができる。

4 単元設定の理由

(1) 教材観

学習指導要領の目標及び内容の取り扱いとの関連は以下の通りである。

(1) 我が国の国土の様子と国民生活について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 知識及び技能

(イ) 我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解すること。

(ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

イ 思考力、判断力、表現力等

(イ) 地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色のある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現すること。

分の考えを分かりやすくまとめ、他者へと伝える力を養っていききたい。

「見通す」段階では、暖かい地域と寒い地域、高地と低地それぞれの様子を比較して気候や地形の特色だけでなく、暮らしや産業にも特色があることに気付かせ、予想を立てることで「深める」段階での調べる意欲を高めていききたい。

「深める」段階では、北海道と野辺山原に視点を絞り、寒い地域や高地で暮らす人々の生活や産業について知る。それぞれの地域の自然条件に対応した工夫や努力について調べることで他の地域の自然条件での暮らしや産業についての興味を持たせるきっかけにしたい。

「まとめる」段階では、調べた地域の様子をもとにそれぞれの自然条件と暮らしや産業との関係について自分の考えをまとめ、学習問題に対する結論を導き出す。

「広げる」段階では、「まとめる」段階で導き出した結論が他の地域でも当てはまるのか、それぞれの興味のある地域を選択して探究していく。集める資料の選択や選択した資料の読み取り、まとめのスライドの表現の工夫をすることで情報活用能力や意思伝達力を養い、他教科の学習や日々の生活にも繋げていききたい。

(2) 児童観

設問		肯定的回答
①	社会科の学習は好きですか。	73%
②	社会科の学習は役に立っていますか。	83%
③	社会科で学んだことを生かして、自主学習などに取り組んでいますか。	16%
④	社会科に限らず、授業で学んだことを生かして自ら学びを広げたり深めたりしていますか。	43%

社会科についての事前調査では、多くの児童が教科に対しての肯定的な考えをもっていた。また、自分たちの住んでいる地域や日本の文化、国土について知ることが生活に役立っていると感じる児童も多くいた。一方で、社会科で学んだことを生かして自主的に学習に取り組んでいる児童は少なく、他教科でも授業で学んだことを生かして自ら学びを広げたり深めたりしている児童は半数にも満たなかった。

以上の実態を踏まえ、本単元を通して、社会科のねらいとともに、「学んだことを生かして自ら学びを広げたり深めたりするために、興味のある地域を選択して自然条件と人々のくらしの関係を調べることができる。」力の育成をキャリア教育の目標として設定した。授業で学んだことを生かして、児童一人一人が課題意識をもち、自分なりに考えて探究活動が行えるようにしていきたい。

(3) 指導観（教師の願いと指導の工夫）

今回は四次に分けて単元の学習を進める。一次「見通す」では、温かい地域と寒い地域、高地と低地それぞれの様子に着目して、各地の自然条件と人々の暮らしや産業との関係について、学習問題をつくる。二次「深める」では、北海道の寒い気候と野辺山原の高い地形に着目して、気候や地形が観光や産業、人々の暮らしにどのように関わっているのかを考える。三次「まとめる」では、調べた地域の自然条件と人々の暮らしとの関係を整理して、人々が自然条件の特色を生かして産業を営んでいること、自然条件に合わせる工夫や克服する努力をしていることを理解する。四次「広げる」では、選択した地域の自然条件と暮らしや産業の関係について、集めた資料や発表方法が伝えたい内容に適しているのか考える。このような学習を通して、児童一人一人が授業で学んだことを生かして自ら学びを広げたり深めたりすることのできるようにしていきたい。

5 キャリア教育の目標に迫るための手立て



自分たちの思いや考えをもつ **見つける力**

学習問題に対する結論に対して教師が意図的に疑いをもつことで、本時のめあてに対して自分の思いや考えをもちやすくする。また、教師がモデルとなる資料（スライド）を作り、学習のゴールを明確にすることで、本時のめあて「『まとめ』が他の地域にも当てはまるのか調べよう」に対して「調べてみたい」「検証したい」という意欲を高められるようにする。



決める やってみる 次へ **考える力**

児童一人一人が課題意識をもち、自分なりに考えて探究活動が行えるようにするために、二次の学習でキーワードとなる言葉（「地形」「気候」「観光」「産業」「暮らしの工夫」）を整理し、調べることを焦点化する。めあてを達成するために、このキーワードに沿った資料を児童は自ら調べ、学習を進めていくこととなる。また、資料探しが困難な児童に対しては、予め教師が準備した資料を活用してもよいことにする。



みんなで学ぶ **聴く・伝える力**

探究した内容を学級内で共有する前に、選択した地域の自然条件と暮らしや産業の関係について、集めた資料や発表の表現の工夫が伝えたい内容に適しているのか、グループで考える時間を設定する。検討した内容を踏まえて、伝えたい内容に適した資料を集め直したり、効果的な示し方を模索したりすることを促す。グループで互いの思いや考えを伝え合いながら資料（スライド）の構想を練ることで、協働的な学びの姿勢を養いたい。

6 単元の指導計画

時		目標 ●キャリア教育の視点	○学習活動	評価の観点と方法 ●キャリア教育の視点
1	一次 見通す	暖かい地域と寒い地域、高地と低地それぞれの様子に着目して、各地の自然条件と人々の暮らしや産業との関係について、学習問題をつくる。	○北海道と沖縄県、野辺山原と佐原北部の写真を比べ、気付いたことや疑問などを発表する。 ○気付きや疑問を整理し、学習問題をつくる。	【思】暖かい地域と寒い地域、高地と低地の比較をもとに、自然条件の特色と暮らしや産業と関係を問う学習問題をつくり、表現している。(記述・発言)
2		気候や地形に特色のある地域の暮らしや産業について、これまでの学習を根拠に予想や学習計画を立て、追求の見通しをもつ。	○雨温図や写真資料、これまでの学習をもとに、学習問題に対する予想を立てる。 ○分類した予想をもとに学習計画を立てる。	【態】自然条件に特色のある地域の暮らしや産業についての予想を話し合い、それをもとに学習計画を立て、主体的に学習問題を解決しようとしている。(記述・発言)
3	二次 深める	北海道の気候に着目して、冬の寒さや雪に備えた暮らしの工夫を人々が取り入れていることを捉える。また、北海道とロシアの関係に触れる。	○北海道の人々の暮らしについて、気候との関係が分かる資料を教科書や資料集から見つける。 ○冬の寒さや雪に備えた、北海道の人々の暮らしの工夫について、見つけた資料から読み取る。	【知】北海道で暮らす人々が冬の寒さや雪に備えた工夫をしていることを、複数の資料を関連付けて読み取る。(記述・発言)
4		北海道の気候に着目して、冷涼な気候に合った農業。水産業が北海道で営まれていることを捉える。	○北海道の農業・水産業と、冷涼な気候との関係がわかる資料を教科書や資料集から見つける。 ○冷涼な気候を生かした北海道の農業・水産業の工夫について、見つけた資料から読み取る。	【知】北海道で暮らす人々が冷涼な気候を農業や水産業に生かしている様子を複数の資料を関連付けて読み取っている。(記述・発言)
5		北海道の気候に着目して、冷涼な気候や自然条件を生かした北海道の観光の工夫を捉える。	○北海道の観光について、その特色や冷涼な気候との関係がわかる資料を教科書や資料集から見つける。 ○冷涼な気候を生かした北海道の観光の工夫を、資料から読み取る。	【知】北海道で暮らす人々が冷涼な気候や自然環境を観光に生かしている様子を、複数の資料を関連付けて読み取っている。(記述・発言)
6		野辺山原の地形に着目して、野辺山原の人々が高地の自然条件を克服するために、どのような努力をしてきたか考える。	○野辺山原の土地の様子の変化を資料から読み取る。 ○荒れた土地や厳しい寒さを克服するために、野辺山原の人々がどのようなことに取り組んできたか資料から読み取り、考える。	【知】野辺山原で暮らす人々が、高地の厳しい自然条件を克服する努力を重ねながら暮らしてきた様子を、複数の資料を関連付けて読み取っている。(記述・発言)
7		野辺山原の地形に着目し、夏でも涼しい高地の自然条件を生かして、どのような農業が営まれているか考える。	○野辺山原で多く生産されている農産物を、資料から読み取る。 ○野辺山原の夏でも涼しい高	【知】野辺山原で暮らす人々が、夏でも涼しい高地の自然条件を農業に生かしている様子を、複数

		る。	地の自然条件と農業との関係について、資料から読み取り、考える。	の資料を関連付けて読み取っている。(記述・発言)
8		野辺山原の地形に着目して、高地の自然条件を生かして、どのような産業が展開されているか考える。	○野辺山原の農業以外の産業について、資料から読み取る。 ○野辺山原の高地の自然条件と酪農や観光との関係について、資料から読み取り、考える。	【知】野辺山原で暮らす人々が、高地の自然条件を酪農や観光に生かしている様子を複数の資料を関連付けて読み取っている。(記述・発言)
9	三次 まとめる	調べた地域の自然条件と人々の暮らしとの関係を整理して、人々が自然条件の特色を生かして産業を営んでいること、自然条件に合わせる工夫や克服する努力をしていることを理解する。	○自然条件を生かしたり克服したりしている様子について調べたことをまとめる。 ○北海道と野辺山原の人々の暮らしや産業の共通点をもとに、学習問題についての考えをまとめる。	【思】調べた地域の様子をもとに、自然条件と暮らしや産業との関係について、自分の考えを、適切に表現している。(記述・観察)
10 本時	四次 広げる	前時にまとめた学習問題に対する結論が他の地域でも当てはまるのかについて、自分が興味のある地域を一つ取り上げて探究する。	○興味のある地域を一つ選択し、自然条件と人々の暮らしの関係についてこれまでの視点をもとに調べる。 ○選択した地域の暮らしや産業が、導いた結論に当てはまっているか考える。	【態】学んだことを生かして自ら学びを広げたり深めたりするために、興味のある地域を選択して自然条件と人々のくらしの関係を調べようとしている。(記述・観察) 【知】自然条件を生かした暮らしや産業についての資料を集め、自然条件と人々のくらしの関係について考察している。(記述・観察)
11		選択した地域の自然条件と暮らしや産業の関係について、集めた資料や発表方法が伝えたい内容に適しているのか考える。	○集めた資料や発表方法について、グループで検討する。 ○検討した内容を踏まえて、伝えたい内容に適した資料を集め、効果的な示し方を模索する。	【思】選択した地域自然条件と暮らしや産業の関係について、資料や発表方法を検討し、伝えたい内容に合わせて適切に表現している。(記述・観察)
12		探究した内容を学級内で共有する。	○選択した地域の自然条件と暮らしや産業の関係について、グループに分かれて発表する。 ○他の人の発表を受けて、気候や地形に特色のある地域は、導いた結論に当てはまるのか考える。	【態】資料をもとに、選択した地域について探究した内容をわかりやすく伝えようとしている。(発言・観察) 【知】自分が調べた地域以外でも、気候や地形に特色のある地域は、自然環境に適応して生活していることを理解する。(記述・発言)

7 本時 (10/12)

(1) ①本時のねらい

前時にまとめた学習問題に対する結論が他の地域でも当てはまるのかについて、自分が興味のある地域を一つ取り上げて探究する。

②キャリア教育の目標



キャリアの目標（学習を通して自分がどのように変容したいかをイメージさせる。）

学んだことを生かして自ら学びを広げたり深めたりするために、興味のある地域を選択して自然条件と人々のくらしの関係を調べることができる。

(2) 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ◇評価基準 ★キャリア教育の目標に迫るための手だて
導入	<p>1 既習を確認し、本時のねらいを確認する。</p> <p>○前の時間では、学習問題に対するまとめをしました。</p> <p>「気候や地形に特色のある地域の人たちは、自然条件を生かしたり、しのいだりする工夫や努力をしながら、くらしや産業に取り組んでいる。」</p> <p>○今回の单元では、寒冷地の北海道と、高地の野辺山原を学習し、この二つの地域は、まとめが当てはまっています。</p> <p>○他の地域はどのようなくらしや産業をしていると思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温が高い地域はどんな工夫をしているのだろうか？ ・高地なら、他の場所でも同じ工夫や努力をしているのかな。 	
「まとめ」が他の地域にも当てはまるのか調べよう。		
展開	<p>2 自然条件に特色のある地域を確認する</p> <p>○授業で扱った「寒い気候」と「高地」以外に、気候や地形の特色はどのようなものがあるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「寒い気候」の反対の「あたたかい気候」 ・「降水量が多い」 ・「降水量が少ない」 ・「降雪量が多い」 ・「高地」の反対の「低地」 <p>○それぞれの特色がみられるのはどこの地域かな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あたたかい気候」は沖縄県。 ・「降水量が多い」は鹿児島県奄美があるみたい。 ・「降水量が少ない」は香川県高松市なんだね。 ・「降雪量が多い」は東北や日本海側だけど、東北は北海道を調べたから、日本海側の白川村を調べたいね。 ・「低地」は佐原北部が教科書で紹介されていたね。 <p>3 モデルを見てイメージをもつ</p> <p>○先生も地形の特色のある「盆地」の地域について調</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然条件の特色と、特色がみられる地域を全体で確認する。 ・教科書の既習内容を振り返りながら、地域の共通認識をはかる。 <p>★教師がモデルとなる資料（スライ</p>

	<p>べてみました。</p> <p>4 調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループで、調べてみたい自然条件に特色のある地域を一つ選びましょう。 ○地域が決まったら、これまでの学習と同じように「くらしの工夫」「観光」「産業」の観点をそれぞれ調べていきましょう。 ○たとえば「くらしの工夫」を調べたいときに、どのように検索すればいいでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・都道府県名と「くらしの工夫」というキーワードを入れればよいと思う。 ・いろいろな情報が出てくるけれど、大事なところだけメモすればいいね。 <p>5 整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べた産業やくらしの特徴をグループで整理し、気候や地形の自然条件の関係について考えましょう。 <p>6 共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調べてみてどのようなことがわかったかクラスで共有しましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・気温が高い地域だから、暑さをしのぐために住まいを工夫していたことが分かった。 ・標高が低くて水辺が近くにあることを利用して、小舟や川釣りを楽しむ観光がさかん。 ・降水量が少ない地域なのに、水が多く必要な稲作が行われているのはどうしてだろう。もっとお米農家の努力について調べる必要があると思った。 	<p>ド)を作り、学習のゴールを明確にすることで、めあてに対する考えをもちやすくする。</p> <p>★二次の学習で用いたキーワードとなる言葉（「地形」「気候」「観光」「産業」「くらしの工夫」）を確認し、調べることを焦点化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べ方（検索ワードの入れ方、情報の切り取り方、理解できない言葉を再度検索すること）を確認する。 ★児童が選んだ地域についての資料を事前に準備しておくことで、資料探しが困難な場合の助けとする。 <p>◇学んだことを生かして自ら学びを広げたり深めたりするために、興味のある地域を選択して自然条件と人々のくらしの関係を調べようとしている。（記述・観察）</p>
まとめ	<p>7 学習を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習問題の「まとめ」が、自分の選んだ地域でも当てはまっているのか振り返りましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい気候の沖縄県でも、気候に適した作物が育てられていたり、気温が高い夏でも快適に過ごすための工夫がされていたりと、気候をいかした産業やくらしが営まれていることが分かりました。 ・標高が低い地域は、豊かな水をいかして稲作がさかんな一方で、水害の危険も高いため、土地の改良など防災に対する努力があると知りました。 ・今回扱っていない地域も当てはまるのかも調べてみたいと思いました。 	<p>★振り返りを通して、目標に向かってどのように変容したのか意識させる。</p> <p>◇自然条件を生かした暮らしや産業についての資料を集め、自然条件と人々のくらしの関係について考察している。（記述・観察）</p>

(3) 板書計画

〈学習問題のまとめ〉
 気候や地形に特色のある地域の人たちは、自然条件をいかしたり、しのいだりする工夫や努力をしながら、くらしや産業に取り組んでいる。

↓

〈めあて〉
 「まとめ」がほかの地域にも当てはまるのか調べよう。

気候

- ・寒い気候 …北海道
- ・あたたかい気候…沖縄県
- ・降水量が多い …鹿児島県奄美
- ・降水量が少ない…香川県高松市
- ・降雪量が多い …白川村

地形

- ・高地…野辺山原
- ・低地…佐原北部

【調べ方】

- ①「くらしの工夫」「産業」「観光」についてそれぞれ調べる。
- ②「地域名」＋「キーワード」
- ③大事なおところだけメモ
- ④わからない言葉を調べる

資料

資料

資料

ワークシート	ワークシート	ワークシート	ワークシート
ワークシート	ワークシート	ワークシート	ワークシート

【補足資料】

探究した内容をまとめる際、児童に「使いたい言葉リスト」を配布することで、資料を読み取りやすくしたり自分の思いや考えを表現しやすくしたりするための手立てとする。

地図・地形の読み取りで使いたい言葉
●東西南北 ●広い ●せまい ●長い ●短い ●高い（高地） ●低い（低地） ●森林 ●平野 ●山地 ●盆地 ●川沿い ●流水
気候のグラフ・資料の読み取りで使う言葉
●あたたかい ●寒い ●すずしい ●暑い ●台風 ●雪 ●大雨 ●降水量（多い・少ない） ●気温（高い・低い・最高気温・最低気温・平均気温・年中） ●零下 ●全体的に～ ●一年中 ●～と比較すると ●グラフ（表・図・写真・地図）から～が読み取れる ●～の点に注目してみると ●～の分布から ●～の占めている割合が大きい（小さい） ●～に適している（適していない）
まとめるとき、自分の考えを表現するときに使う言葉
●～と比較すると ●～工夫や努力がある ●～に大きな違いがある ●関連づけることができる ●～があることに気付いた ●～と同じように ●～と深く結び付いている ●～がさかんだ ●～の影響で ●～という特色がある ●～を利用して ●～を生かして ●～が進められている ●～の被害を受けやすい ●～に恵まれている ●～に問題点がある ●～に役立っている

8 成果と課題

<成果>

- ・学んだことを生かして、自ら学びを広げたり深めたりしようとする学習の大切さや楽しさに気付くことができた。他の単元や教科を学習した後に、「また他でも当てはまるか調べてみたい！」と意欲が高まった様子が見られた。
- ・児童が選んだ地域についての資料を事前に準備しておくことで、資料探しが困難な場合の助けとすることができた。
- ・教師がモデルとなる資料（スライド）を作り、学習のゴールを明確にすることで、めあてに対する考えをもちやすくすることができた。

<課題>

- ・「自然条件」と「産業やくらしの特徴」を関連付けて考えようとする姿勢が見られた一方で、単一の資料で結論を導き出す児童が多かったため、複数の資料から考察させる力を身に付けさせたい。
- ・調べた情報をそのまま受け取ってまとめるだけで、得た情報を根拠としてさらに考察を深める段階まで到達させるのが難しかった。